

日本モンキーセンター史

History of Japan Monkey Centre

日本モンキーセンターの歴史をご紹介します。

※文中で「財団法人日本モンキーセンター」を「JMC」と表記している所があります

1956年（昭和31年）

- 02月28日 第1回財団設立準備会開催（犬山）
- 07月30日 文部省へ設立許可申請書を提出
- 08月31日 サル飼育舎第1号（76m²）が完成
- 10月01日 犬山市栗栖に事務所完成
- 10月17日 財団法人日本モンキーセンター設立
初代会長に洪沢敬三氏
理事長に田村剛氏が就任
- 11月28日 開所式と第1回霊長類研究者総会開催
- 12月31日 屋久島でヤクニホンザルを79頭収集

1957年（昭和32年）

- 02月01日 日本動物園水族館協会、日本博物館協会、
実験動物研究会に加盟
- 03月17日 小豆島でニホンザル1群の45頭捕獲、うち
33頭を三河湾のさるが島（沖の島）に放飼
- 03月15日 ヤクニホンザル81頭を犬山野猿公苑に放飼
- 04月01日 博物館登録認可、愛知県登録第2号となる
- 06月03日 雑誌「PRIMATES」「モンキー」第1号発行
- 10月27日 「モンキー友の会」発足

1958年（昭和33年）

- 02月05日 アフリカ類人猿学術調査隊派遣
（今西錦司・伊谷純一郎）
- 03月21日 犬山野猿公苑で初めての出産
- 05月25日 国立予防衛生研究所よりポリオワクチン
製造用サルの供給依頼を受ける
- 08月03日 知多半島沖の木島に
カニクイザル12頭放飼
- 09月21日 さるが島（沖の島）の隣に
うさぎ島を開苑
- 10月09日 初めての動物交換により、
レオポルドビルから
ゴールデンマンガベイ、
アカオザルが到着
- 10月30日 スタンレービルから
フクロウグエノンが到着
- 12月25日 セイロンからグレイラングールなど
3種のサル到着

1959年（昭和34年）

- 04月09日 リスザル、ワタボウシパンシェなど
南米産のサル続々到着
- 05月15日 世界のサルを集めたモンキーアパート
（栗栖）開館 外国産サル16種53頭展示
- 07月05日 チンパンジー2頭、初めて到着
- 08月19日 モンキー友の会
第1回サマースクール開校
- 09月26日 伊勢湾台風でモンキーアパート等被災
- 11月16日 アヌビスヒヒ30頭を知多半島沖の築見島に放飼
- 12月 この年より、ヤクニホンザルのたき火に
あたるサルが始まる。
のちに、「冬の風物詩たき火にあたるサル」に。
(1959年12月現在 サル43種420頭)

1960年（昭和35年）

- 09月10日 日本で初めてのゴールデンライオン
タマリン2頭が到着
- 10月01日 カニクイザル用の建物7号舎完成
ポリオワクチン用の供給本格化する
- 12月31日 この年、ポリオワクチン用の供給
1000頭を超える

1961年（昭和36年）

- 05月30日 日本で初めてマウンテンゴリラが2頭到着
旅の疲れで肺炎を起こし、相次いで死亡
- 10月20日 世界サル類動物園に管理事務所完成
- 10月30日 JMC創設5周年記念でサルの供養塔建立

1962年（昭和37年）

- 03月18日 世界サル類動物園の一部として、
子供動物園を開園
豊沢猿二郎氏寄贈による
サルのコレクション館（猿二郎館）も完成、公開
- 03月21日 犬山モノレール（犬山遊園～動物園駅）開業
- 09月03日 再びニューヨークの動物園と動物交換
タラポアン3頭到着

1963年（昭和38年）

- 05月03日 ワオキツネザル初めて出産
- 05月08日 日印合同サル類調査隊の手によって、
ハヌマンラングール33頭、
ボンネットモンキー67頭捕獲到着
- 06月01日 リスザルが日本動物園水族館協会の
繁殖賞受賞（モンキーセンターでは第1号）
- 10月20日 動物園にモンキーアパート1号館、
2号館が完成、一般公開

1964年（昭和39年）

- 02月01日 パタス草原完成 パタスモンキーを放飼
所長に宮地伝三郎京都大学名誉教授就任
- 03月15日 モンキーアパート3号館が完成し、一般公開
- 09月20日 モンキージャングルにハヌマンラングール19頭
とボンネットモンキー39頭を放し飼いにし、
一般公開
(1964年4月現在 サル56種612頭)

1965年（昭和40年）

- 02月15日 犬山野猿公苑でヤクニホンザルに
関する総合調査を実施
- 07月05日 会長に平沢興京都大学元総長が就任
- 08月28日 常陸宮殿下、同妃殿下がご来園
- 09月23日 博物館活動の拠点として
ビクターセンター開館
(1965年3月現在 サル53種937頭)

1966年（昭和41年）

- 04月06日 チンパンジー、メス1頭到着
- 09月03日 太平洋学術会議特別シンポジウム
「霊長類」を開催
各国から90名の学者らが集まる
- 09月23日 南米館が完成し一般公開、
夜行性サル展示は日本で初めての試み
- 10月16日 JMC創設10周年記念、特別展「人の進化」を
ビクターセンターにて開催

1967年（昭和42年）

- 01月06日 チンパンジー、オス到着
昨年到着したチンパンジー、メスと同居
- 03月04日 愛知県がんセンターとの共同研究で、さるが島にワタオウサギを放飼繁殖実験を始める

1968年（昭和43年）

- 01月01日 サル年に因み、ピジターセンターで特別展「日本人の生活の中のニホンザル」開催
- 03月29日 皇太子殿下、同妃殿下がご来園（現在の天皇陛下、同妃殿下）
- 10月19日 栗栖に新研究棟が完成
フォード財団の援助で
ニホンザルの研究プロジェクト開始
- 11月30日 「モンキー」通巻100号を発行
- 12月05日 知多半島の野島で
実験用ニホンザル83頭放飼

1969年（昭和44年）

- 01月17日 雑誌「ライフ」の記者来訪
ニホンザルを「スノーモンキー」として全世界で紹介
- 03月14日 猿二郎館に新館を増設
- 04月05日 浩宮様が見学ご来園（現在の皇太子殿下）
- 04月07日 犬山野猿公苑で初めてのヤクニホンザルの双子が生まれる
- 06月02日 隣接地に京都大学霊長類研究所開所
- 11月20日 地域社会の文化に優れた功績ありとして、東海テレビ賞を受賞

1970年（昭和45年）

- 07月09日 アカウアカリ2頭日本で初めて公開
1980年5月まで10年間飼育の記録を作る
マンクサキ2頭、エリマキティティ2頭、
ダスキーティティ1頭
など南米産の珍しいサルが続々到着
（1970年9月現在 サル75種767頭）

1971年（昭和46年）

- 05月17日 霊長類の研究とその普及活動に功績ありとして、宮地伝三郎所長に中日文化賞が授与される
- 05月21日 動物園内シカ園敷地で埋蔵文化財を発見
文化財保護委員会に届出
- 06月30日 第一次アマゾン学術調査隊出発（伊沢紘生、佐藤正雄）

1972年（昭和47年）

- 01月01日 特別展「アマゾン調査」開催
- 06月02日 子供動物園のアシカ双子を出産
その後1978年まで合計6回双子出産
- 06月30日 チンパンジー「スマレ」初めて出産

1973年（昭和48年）

- 03月20日 栗林公園動物園よりニシローランドゴリラオス到着（1971年2月2日同園生まれ）
公募により「木曾太郎」と命名
- 06月25日 第二次アマゾン学術調査隊出発（伊沢紘生）
- 10月21日 東京・犬山で第27回国際動物園長連盟総会を開催
各国の動物園長約50名が
モンキーセンターを訪問

1974年（昭和49年）

- 07月13日 日本平動物園よりクロキツネザル、メス到着
- 09月02日 日本平動物園よりクロキツネザル、オス到着
- 09月18日 インドネシア・スラバヤ動物園より
日本で初めてのテングザル6頭到着

1975年（昭和50年）

- 03月10日 ヒヒの城完成、アヌビスヒヒ33頭を放飼一般公開
- 05月03日 インドネシアよりオランウータンオス3頭到着
- 05月19日 ボルネオオランウータン、モンキーセンターで初めて出産、「ノリエ」と命名
- 09月19日 ワシントンの動物園より
パーバリーマカクオス2頭到着

1976年（昭和51年）

- 01月09日 世界サル類動物園園長に小寺重孝氏就任
- 09月19日 モンキーアパート4号館完成
マカク属のサル15種を展示
- 10月23日 理事長に竹田弘太郎名古屋鉄道社長就任
- 11月01日 所長に四手井綱英京都大学名誉教授就任
（1976年8月現在 サル77種725頭）

1977年（昭和52年）

- 02月02日 WHOの助成でマラリア研究のためのヨザル繁殖計画始まる
- 06月11日 西ベルリン動物園より動物交換で
ハイロネズミキツネザル3頭到着
- 06月21日 日本で初めてテングザル出産

1978年（昭和53年）

- 03月20日 ゲルジモンキー初めて出産
- 04月05日 礼宮様が見学ご来園（現在の秋篠宮殿下）
- 06月03日 スリランカから動物交換で
スレンダーロリス到着
- 08月04日 鳥羽水族館と共催で
「世界のサルとカニ展」を名鉄百貨店で開催
- 11月04日 クモザルの村で
ジェフロイクモザルが双子を出産

1979年（昭和54年）

- 05月29日 天皇陛下、皇后陛下がご来園（昭和天皇、同妃殿下）
- 06月12日 東ベルリン動物園へ、
ニホンザル1群30頭を送る
- 08月15日 中国特産のフランソアルトン2頭が初めて到着
- 11月08日 美智子妃殿下と紀宮様が見学ご来園

1980年（昭和55年）

- 01月04日 サル年に因み、福岡市で
「世界のサル展」開催
- 06月11日 タスマニア島ローセストン市へ
ニホンザル10頭を送る
- 09月20日 類人猿舎完成、一般公開
- 11月18日 日立市かみね動物園より
ニシローランドゴリラメス13才到着
その後公募で「花子」と命名

1981年（昭和56年）

- 03月10日 ビグミーマーモセット双子出産
- 06月04日 タスマニア島からニホンザルの返礼に、
ベネットアカクビワラビー5頭到着
- 09月09日 サバンナモンキー14頭目の赤ちゃん出産
12年間14頭全部育っているのは新記録

1982年（昭和57年）

- 01月01日 所長に大沢済京都大学名誉教授就任
- 05月03日 白鳥の池にワオキツネザルの放飼を開始
- 06月22日 アカテタマリン公開（日本初）
- 11月20日 中国からチベットモンキー4頭が初めて到着

1983年(昭和58年)

- 02月07日 チベットモンキー一般公開
- 10月08日 エリマキツネザル2頭
モンキーセンターでは初めて公開
- 10月14日 シュミットグエノン2頭
日本で初めて公開
- 12月10日 ボルネオオランウータン、アダムとイブに
モンキーセンターで初めての孫誕生
(1983年12月現在 サル88種759頭)

1984年(昭和59年)

- 01月20日 ブラジル産、キンクロライオンタマリン
2頭日本初公開
- 08月01日 沖縄石垣島、八重山民俗園のトロピカル
モンキーガーデンオープンに伴い、
リスザル30頭を貸し出す
- 10月09日 テングザル繁殖計画の為、ジャカルタ動物園へ
メス2頭を貸し出す(ブリーディングローン)

1985年(昭和60年)

- 03月13日 キンシコウ2頭日本初公開(110日間)
- 11月10日 「モンキー」通巻200号発刊

1986年(昭和61年)

- 07月06日 ケナガクモザル初の出産
- 09月11日 キンクロライオンタマリン2頭
ブラジルへ送り出す
- 10月11日 JMC創設30周年記念特別公開講座開催
「サル社会に学ぶ子育て」
講師河合雅雄氏(京都大学霊長類研究所教授)
(名古屋市市民会館)
- 11月02日 フィリピンメガネザル初の到着、一般公開

1987年(昭和62年)

- 02月02日 ゴールデンマンガベイ初の出産
- 05月01日 所長に河合雅雄京都大学名誉教授就任
- 05月27日 ニシローランドゴリラ
オス「木曾太郎」死亡(16才)
- 10月16日 クロミミマーモセット到着、一般公開
- 10月24日 ハイイロネズミキツネザル4頭到着
- 11月14日 三河湾海上動物公園さるが島、うさぎ島
開園30周年記念特別公開講座開催
「サル社会に学ぶ」
講師日本モンキーセンター所長河合雅雄氏

1988年(昭和63年)

- 04月02日 三河湾国定公園30周年記念イベント
さるが島うさぎ島海上大綱引き大会開催
- 04月07日 クロミミマーモセット双子が南米館2階
ホールで初めて誕生(日本初)
- 07月08日 エンペラータマリン初めて来園、一般公開
- 07月20日 礼宮文仁親王殿下来園される
- 10月01日 動物アパート閉鎖
- 12月14日 レッサースローリス預かる
(ワシントン条約関係により通産省より)

1989年(平成元年)

- 03月20日 さるの学習ひろば竣工一般公開
- 04月13日 ニシローランドゴリラ(オス)
イギリスのエジンバラ動物園より到着
- 06月14日 ワシントン条約許可書偽造スローリス
22頭通産省から保護依頼
- 06月18日 ニシローランドゴリラ
公募により「太郎」と命名

1990年(平成2年)

- 04月22日 財団法人日本モンキーセンター
八重山研究所開設
- 05月23日 会長に岡本道雄京都大学名誉教授就任
- 07月18日～22日 第13回国際霊長類学会が名古屋で開催
- 09月10日 台風19,20,21号襲来、うさぎ島被害
(1990年3月現在 サル94種950頭)

1991年(平成3年)

- 11月10日 名古屋で梅原猛氏によるJMC創設35周年記念
講演会「森の文化と日本」開催

1992年(平成4年)

- 03月14日 日本初の球形飼育施設エコドームオープン
- 06月29日 理事長に梶井健一名古屋鉄道会長就任
- 10月14日 八重山研究所でキツネザルの丘を開設し、
ワオキツネザル18頭を放飼

1993年(平成5年)

- 05月03日 エリマキツネザルに4つ子の赤ちゃん誕生
- 07月29日 ドイツのブッパタル動物園より血液更新
ドリルのオス到着
- 11月03日 サンタレムマーモセット(日本初)、
シルバーマーモセット
(JMCでは30年ぶり)を一般公開

1994年(平成6年)

- 03月11日 ギボンハウスオープン
- 04月18日 サンタレムマーモセットに3つ子の
赤ちゃん誕生(日本初)
- 05月01日 所長に岩本光雄京都大学名誉教授就任
- 09月29日 台風26号襲来、うさぎ島棧橋崩壊
(9/29～3/25台風被害でうさぎ島閉鎖)
- 11月04日 シルバーマーモセットに双子誕生
(1994年3月現在 サル93種992頭)

1995年(平成7年)

- 04月16日 さるが島で500頭目の赤ちゃん誕生
- 05月16日 アンゴラコロブスに初めての赤ちゃん誕生

1996年(平成8年)

- 03月26日 ホノボ(ピグミーチンパンジー)
「ピー助」アメリカのジョージア州立
大学言語学研究センターへ、
ブリーディングローンのため貸し出し
- 06月07日 タラポアンに赤ちゃん誕生(日本初)
- 09月14日 リスザルの島公開
- 10月17日 JMC創設40周年

1997年(平成9年)

- 01月22日 JMC初の休園日を実施(～1/24まで)
- 03月17日 犬山野猿公苑閉鎖
- 04月26日 ヤクニホンザルの放飼施設
モンキーバレイを動物園にオープン
- 10月06日 テナガ・クモザルの島を新設
- 11月30日 三河湾海上動物公園さるが島と
うさぎ島閉鎖

1998年(平成10年)

- 04月30日 栗栖地区バックヤード機能を動物園に移動
モンキージャングルに回廊をつくり、
餌の販売開始
類人猿舎のチンパンジー放飼場に植え込み
やジャングルジムなどの設置など行う
- 10月15日 財団の登録住所を栗栖から官林に移転

1999年(平成11年)

- 10月17日 犬山市民講座を開催、講師、杉山幸丸氏
(東海学園大学教授)
- 11月08日 東山動物園よりブリーディングローン
のためオスゴリラ「リッキー」来園
- 11月25日 小寺重孝園長退職に伴い、
岩本光雄所長が園長兼務となる

2000年(平成12年)

- 01月24日 類人猿舎チンパンジー放飼場にアリ塚設置
- 05月21日 犬山市市民講座開催、講師、山極寿一氏(京都大学助教授)
- 07月23日～8月13日 4回にわたり特別講演会開催

2001年(平成13年)

- 01月22日 オスゴリラの「リッキー」東山動物園に返還
- 04月 マダガスカル館完成、キツネザル4種類を展示
リスザルの島に2階建て観覧デッキ完成
- 05月04日 モンキーアパート4号館の檻切れ、サル脱柵
- 05月29日 映画「折り梅」の撮影
- 09月15日 クロクモザル「ブエノス」来園40年
(2001年3月現在 サル82種669頭)

2002年(平成14年)

- 01月 モンキーアパート1・2号館リニューアル
モンキーバレイにWebカメラ設置
旧ヒヒの城から新ヒヒの城に移転
- 08月03日 モンキー友の会会員雑誌「モンキー」、
298号をもって休刊となる

2003年(平成15年)

- 01月 モンキーセンター管理事務所と
遊園地事務所が合併
- 01月 八重山研究所閉鎖のため、
ワオキツネザルを犬山へ送る
- 02月 ゴミ焼却用炭化装置を設置、(愛知県設置第一号)
- 03月 動物園正門移設
パタス草原・旧テナガの森跡地に駐車場新設
- 06月 コモンマーモセットの「ムーヴ」が、
漁をするサルとして有名になり、
年内に国内外より83件の取材を受ける
- 06月 加藤副園長、園長に就任
- 06月30日 南米館からアフリカセンターに、
夜行性展示室移設
- 09月30日 カニクイザルの山新設、
モンキージャングルより移動
- 09月30日 犬山市と協力して希少魚の保護を行う

2004年(平成16年)

- 01月 平成16年申年にちなみ
特別展「申年干支展」開催
- 01月 申年企画「サルおせち」を実施、
すべてのサルにおせちをふるまう
- 02月14日 国内最後のテングザル「グゲル」死亡
- 04月01日 所長に西田利貞京都大学名誉教授就任
わくわく動物村 自営化
- 07月17日 預かっていた高崎山のボスザル、
「ジュピター」の遺骨、高崎山に返還

2005年(平成17年)

- 03月12日 Waoランド オープン
- 03月26日 クロクモザルの「ブエノス」死亡、
サル類では世界最長寿推定死亡年齢52歳
- 08月 愛知万博に紙芝居出張公演を行う
- 08月 GRASP-Japan(大型類人猿保全計画日本委員会)
事務局を日本モンキーセンターに開設
- 09月 第1回モンキーフォトコンテスト開催

2006年(平成18年)

- 04月 第1回モンキーカレッジ開催
- 09月23日 3種類のサルと人間が交錯する
モンキースクラムブル オープン
- 10月14日 「ウィルあいち」においてJMC創設50周年記念
講演会開催「サルに学ぶ子育て」
講師 河合雅雄元日本モンキーセンター所長
- 10月17日 JMC創設50周年を迎える
- 12月06日 漁をするサルで有名になった「ムーヴ」が死亡
- 12月 日本モンキーセンターのロゴマークを
村上康成氏のデザインに一新

2007年(平成19年)

- 7月 ミュージアムグッズとして「Wao シippo携帯
ストラップ」を開発し人気となる
- 8～9月 密輸されたスローロリスやレッサースロー
ロリスを税関より多数預かり保護する

2008年(平成20年)

- 07月22日 東京、大阪の子供たちを対象に、
～23日 「スーパーサマースクール」を初開催
- 秋 特別展「アートなサル
～日本モンキーセンターゆかりの作家展～」開催
- 10月31日 西田利貞所長がリーキー賞を受賞。
サンフランシスコにて授賞式に出席
- 12月27日 名鉄モノレール線が廃線となる

2009年(平成21年)

- 01月1-2日 ゴリラの糞から芽が出て実をつけた
「奇跡のミカン」を収穫し、来園者に配布
- 02月25日 ゴリラの「ハナコ」死亡(推定年齢42歳)
- 03月28日 Waoランドmini オープン
- 03月30日 朝日新聞夕刊で「サル百科」連載開始(～9/30)
- 05月02日 Hondaのミニバイク「モンキー」が一堂に会する
「モンキーミーティング」初開催
- 07月18日 特別展「進化のおもちゃ箱 マダガスカル展」開催
- 09月14日 プリーディングローンでアメリカから来園した
ボウシテナガザルが産産
- 12月22日 「たき火にあたるサル50周年展」開催

2010年(平成22年)

- 01月29日 1962年に、観光と生態研究のために小豆島から
広島県宮島に移入されたニホンザルが猿害を起こす
ようになったため、捕獲・モンキーセンターに移送
121頭を収容(2010/1/30 現在の頭数)
- 03月20日 特別展「進化の異端児 有害有害生物展」開催
- 03月22日 ポト産産(国内での繁殖成功例は9年ぶり)
- 05月03日 西田利貞所長が第63回中日文化賞を受賞
「野生チンパンジーの社会学・行動学的研究」
- 07月17日 COP10 関連事業として
企画展「サルに学ぶ生物多様性」開催

2011年(平成23年)

- 01月11日 小動物ふれあい施設わくわく動物村が閉村
- 03月19日 JMC創設55周年事業として、わくわく動物村が
KIDSZOOにリニューアルオープン
特別展「極限に生きる」開催
- 06月07日 西田利貞所長逝去(享年70歳)
所長に市川光雄京都大学名誉教授就任
- 10月16日 JMC創設55周年記念イベント
「市川光雄所長講演会」開催

2012年(平成24年)

- 03月24日 特別展「アフリカ-私たちのルーツを求めて-」
開催
- 04月28日 「霊長類ガイドブック」発売
- 05月21日 金環日食観察会を開催 302名が参加
- 06月14日 JMC元園長の小寺重孝氏逝去(享年77歳)

2013年(平成25年)

- 01月27-28日 第53回日本動物園水族館教育研究会
犬山大会をJMCにて開催
- 02月14日 国内最後のグラダヒヒ「マック」死亡
- 03月14日 日本平動物園、東山動物園からヒゲサキが来園
- 03月23日 特別展「アマゾンの光と影 -Beautiful &
Dangerous Amazon + UMA-」開催

(2013年4月現在 サル69種965頭)